第５学年１組　体育科学習指導案

令和８年１１月１１日（水）　　第５校時　　校庭
在籍児童数　　男子１８名　女子１６名　計３４名
熊谷市立奈良小学校

１　単元名　　５の１カップ　ＧＯ！ＧＯ！ＧＯ！（ボール運動・ゴール型）

２　運動の特性

⑴　一般的特性

○ゴール型は、ボール操作とボールを持たない動きによって簡易化されたゲームを通して、集団対集団の攻防によって競い合う楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

⑵　児童から見た特性

ボール運動の楽しさや喜びを感じる要因	ボール運動を遠ざける要因
・点を決められたとき。 ・パスがつながったとき。 ・試合に勝ったとき。 ・ほめられたとき。 ・ドリブルが誰にも取られずにできたとき。	・点を入れられたとき。 ・みんなについていけない。 ・ボールがまわってこないとき。 ・負けたとき。・ボールが当たって痛いとき。 ・ボールを占領されるとき。 ・協力できないとき。 ・相手がズルをしたとき。

３　児童の実態

当日紙ベースで配付します。

４　教師の指導観

⑴　知識及び技能

「サッカー」は、ボール操作とボールを持たない動きによって簡易化されたゲームを通して、集団対集団の攻防によって競い合う楽しさや喜びを味わうことができる運動である。得点を取ることに喜びを感じる最大の魅力があると感じる。そのため、基本的なドリブルやパスの技能を単元の前半に身に付ける必要があると感じる。ドリルゲームで楽しさを味わいながら、技能が高められるようにする。また、得点を取るためには、ボールを持たない場面でどう動くかが重要になってくる。タスクゲームを通し、空いているスペースを見つけたり、つくったりすることを身に付けられるようにする。

⑵　思考力，判断力，表現力等

本単元では、「自己やチームの特徴に応じた作戦を選び、他者に伝える力」の育成を目指す。低学年で身に付けた「空いている場所を見付ける力」と中学年で身に付けた「空いている場所を活用する力」を基に、味方や相手の動きを踏まえて、スペースを創り出し活用する力へと発展させたい。そのため、ＩＣＴを活用して、ゲームの様子を記録に共有することで、自分やチームの動きを客観的に振り返り、課題に応じた作戦を考えられるようにする。

⑶　学びに向かう力，人間性等

全ての児童が楽しさや喜びを味わうことができるように、ドリルゲームやタスクゲームで必要な技能や思考を働かせる活動を取り入れたい。また、勝敗に関して、節度ある受け止め方や自分のチームだけでなく相手チームも称えられるよう、勝敗を受け入れることの大切さを学級全体に広めるようにする。負けた際にも、チームの課題に目を向けられたり、チームで励まし合ったりする場面を繰り返し取り上げ、学級全体に広められるようにする。

5　単元の目標

⑴　サッカーの行い方を理解するとともに、ボール操作とボールを持たないときの動きができるようにする。　〈知識及び技能〉

⑵　自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだり、その作戦を他者に伝えたりすることができるようにする。　〈思考力，判断力，表現力等〉

⑶　運動に積極的に取り組み、勝敗を受け入れたりルールを守り助け合って運動したり、仲間や相手チームの作戦を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。　〈学びに向かう力，人間性等〉

6　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①サッカーの行い方について言ったり、書いたりしている。 ②味方が取りやすいボールを蹴ることができる。 ③空いているスペースを見つけて動くことができる。	①自己やチームの特徴に応じた作戦を選んでいる。 ②自己やチームの特徴に応じた作戦を動作や言葉、絵図などを使って、仲間に伝えている。	①サッカーに積極的に取り組もうとしている。 ②ルールやマナーを守り、仲間と協力しようとしている。 ③ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ④使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

7　単元の計画

⑴　領域（ゲーム・ボール運動）の取り上げ方

運動／学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年
ゴール型ゲーム及びゴール型	１４時間	１５時間	１３時間	８時間
ネット型ゲーム及びネット型		８時間	８時間	
ベースボール型ゲーム及びベースボール型	７時間			９時間

⑵　領域の内容（ボールゲーム・ゴール型ゲーム・ゴール型）と目指す動き

学年	内容	目指す動き
3	ハンドボール シュートボール	○ボール保持者と自分の間に守備者が入らないように移動すること ○得点しやすい場所に移動しパスを受けてシュートなどをすること。 ○攻めと守りを交代しながら、近くの味方にパスをしたり、ボールを持ってゴールに走りこんだりするような簡単なゲームを行うこと。
4	タグラグビー ラインサッカー	○ボールを持ったときにゴールに体を向けること。 ○味方にボールを手渡したり，パスを出したり，ゴールにボールを持ち込んだりすること。 ○味方にパスをしたり、パスをもらいやすい場所に動いたりするようなボールを持たないときの動きを入れた簡易化されたゲームを行うこと。
5	タグラグビー サッカー	○ボールを持ったときにゴールに体を向けること。 ○味方にボールを手渡したり，パスを出したり，ゴールにボールを持ち込んだりすること。 ○パスやドリブルを使いながらゴールに向かってボールを運ぶような基本的なボール操作とボールを持たないときの動きを入れた簡易化されたゲームを行うこと。
6	バスケットボール	○近くにいるフリーの味方にパスを出すこと。 ○相手に捕られない位置でドリブルをすること。 ○ボール保持者と自分の間に守備者が入らないように移動すること。

⑶　指導と評価の計画（７時間扱い）　本時は○印　５／７時

時間	1	2	3	4	⑤	6	7
ねらい	学習の進め方を知り、学習の見通しをもとう。	ねらったところにボールを蹴って、ゲームをしよう。	味方にパスをつなげよう。	空いているスペースに動こう。	チームの特徴に応じた作戦を選ぼう。	効果的な攻め方を考えよう。	これまでの学習を生かし、５の１カップを楽しもう。
指導内容	・学習の進め方 ・学習カードの使い方 ・準備、片付けの仕方	・ボールの蹴り方 ・ボールの止め方 ・ゲームルールの工夫	・パスの出し方	・ボールもたない時の動き ・空間の見つけ方	・チームの課題の見つけ方 ・作戦の選び方	・チームの課題の解決方法	・仲間とのかかわり方 ・勝敗を受け入れる姿勢 ・学習の成果の確認
学習過程	〈オリエンテーション〉 １集合、整列、挨拶をする。 ２準備運動をする。 ３単元の学習の見通しをもつ。 ４本時のねらいを理解し目標を立てる。 ５場の設定をする。 ６試しのゲームをする。 ７整列、挨拶をする。 ８個人やチームの課題を共有する。 ９本時のまとめと振り返りをする。 10 用具の片付け、整理運動、挨拶をする。	１集合・整列・挨拶・健康観察をする。　２チームごとに準備運動をする。 ３主運動につながる運動をする。　①パス＆ＧＯ　②とりかＧＯ ４本時のねらいを確認する。 ５ＧＯ！ＧＯ！スキルアップタイム ・ドリルゲーム ６メインゲームをする。 【メインゲームの仕方】　・ハーフコート　・３人対２人 ・作戦タイム（３分×２）・前、後半（５分×２） ７片付け・集合する。 ８本時のまとめと振り返りをする。 ９次時のねらいを確認する。 10 整理運動をする。 11 集合・整列・挨拶をする。	１集合・整列・挨拶・健康観察をする。　２チームごとに準備運動をする。 ３主運動につながる運動をする。　①パス＆ＧＯ　②とりかＧＯ ４本時のねらいを確認する。 ５ＧＯ！ＧＯ！スキルアップタイム ・ドリルゲーム ６メインゲームをする。 【メインゲームの仕方】　・ハーフコート　・３人対２人 ・作戦タイム（３分×２）・前、後半（５分×２） ７片付け・集合する。 ８本時のまとめと振り返りをする。 ９次時のねらいを確認する。 10 整理運動をする。 11 集合・整列・挨拶をする。	１集合・整列・挨拶・健康観察をする。　２チームごとに準備運動をする。 ３主運動につながる運動をする。　①パス＆ＧＯ　②とりかＧＯ ４本時のねらいを確認する。 ５ＧＯ！ＧＯ！スキルアップタイム ・タスクゲーム ６メインゲームをする。 【メインゲームの仕方】　・コート　・５人対５人 ・作戦タイム（３分×２）・前、後半（５分×２） ７片付け・集合する。 ８本時のまとめと振り返りをする。 ９次時のねらいを確認する。 10 整理運動をする。 11 集合・整列・挨拶をする。	１集合・整列・挨拶・健康観察をする。　２チームごとに準備運動をする。 ３主運動につながる運動をする。　①パス＆ＧＯ　②とりかＧＯ ４本時のねらいを確認する。 ５ＧＯ！ＧＯ！スキルアップタイム ・ドリルゲーム ６メインゲームをする。 【メインゲームの仕方】　・ハーフコート　・３人対２人 ・作戦タイム（３分×２）・前、後半（５分×２） ７片付け・集合する。 ８本時のまとめと振り返りをする。 ９次時のねらいを確認する。 10 整理運動をする。 11 集合・整列・挨拶をする。	１集合、整列、挨拶、健康観察をする。 ２チームごとに準備運動をする。 ３チームごとの目標を確認する。 ４メインゲームを行う。 【５の１カップ】 ５単元の学習を振り返り、学習のまとめをする。 ６用具の片付けをする。 ７整理運動をする。 ８挨拶をする。
評価計画	知・技	①	②	③			
	思・判・表				①	②	
	態	④	②			①	③
	方法	観察	観察・学習カード	観察	観察・学習カード	観察・学習カード	観察・学習カード
	場面	10	５、６	６	６	６	４、５

８　本時の学習と指導（５／７時）

⑴　ねらい

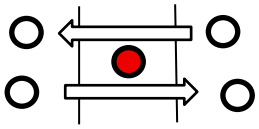
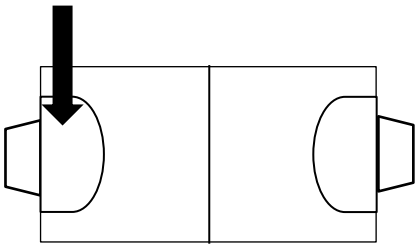
自己やチームの特徴に応じた作戦を選ぶことができるようにする。

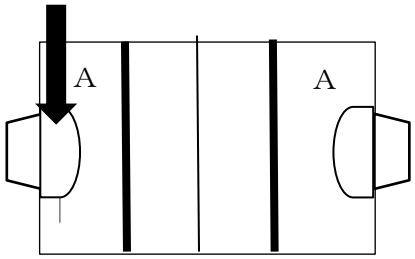
〈思考力，判断力，表現力等〉

⑵　準　備

・サッカーボール　・ミニゴール　・得点板　・作戦ボード　・学習カード　・タブレット

⑶　展　開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点（○指導　◆評価規準）
導入 10分	1　集合・整列・挨拶・健康観察をする。 2　準備運動をする。 ・チームごとに行う。 3　主運動につながる運動をする。 ・とりかＧＯ！ 【とりかＧＯ！の仕方】 ・おに役の人に取られないようにパスを回す。 ・ラインを越えるごとに１点 ・何点取れるかを競う 	○授業への意欲を高められるようなコールを行う。 ○児童の健康状態と服装を確認する。 ○本時で使う部位を重点的に動かすようにさせ、チームでの声がけが意欲的な児童に積極的に声をかけるようにする。 ○前時までに身に付けたボールの蹴り方や止め方などを確認できるようにする。 ○足の内側にボールを当てるようにし、正確なパスの出し方の練習ができるよう声をかける。 ○ボールの蹴り方が安定している児童を取り上げ、よい蹴り方がイメージできるようにする。 ○攻守の交代を素早くすることで、ゲーム中に攻守が入り乱れる場に近づけた練習ができるようにする。 ○点数化することで、競い合う必要感を感じられるようにする。
展開 28分	4　本時のねらいを確認する。 チームの特徴に合った作戦を選んで、ゲームに生かそう。 5　スキルアップタイムをする。 【タスクゲームの仕方】 ・３人対２人 ・ハーフコートゲーム ・兄弟チームと対戦 ・点を入れるごとに選手交代 ・ゴール前エリアは守りなし 	○前時までのゲームの結果から、自分のチームの課題を解決したいという意欲がもてるようにする。 ○学習の流れを一目で確認できるよう、ボードに掲示し前時との学習内容のつながりを確認できるようにする。 ○チームで考えた作戦が実行できるように、攻め始めの位置は、攻めのチームが考えてよい。 ○スキルアップゲームをしながら、より具体的な作戦が立てられるよう、ゲームの役割を明確にしておく。 ○攻めのチームは、１点入るごとに児童が交代し、メインゲームで起こりうる場面を想定できるようにする。 ○守りのチームは、児童の入れ替えをなくすことで、スムーズにゲームが進み、次々と攻めのチームの児童が交代できるようにする。 ○ゴール前の守りをなくすことで、得点を入れるイメージをしやすいようにする。 ○守りのチームでゲームをしない児童は、相手チームの動きを動画で確認する。 ○動画を見せたり、ゲーム中に声をかけたりして、兄弟チームにアドバイスできるようにする。 ○作戦ボードを使って具体的な動きを確認できるようにする。

	6　メインゲームをする。 【メインゲームの仕方】 ・４人対４人（４人対３人） ・赤帽子１人は攻めのみ ・フルコートゲーム ・兄弟チーム以外と対戦 ・試合前と前半後に作戦タイム（３分×２） ・前後半（５分×２） ・状況に応じてルールを変更 ・キーパーなし ・Aエリアはドリブルなし ・スローインは転がす ・スローインを最初に受け取れるのは仲間のチーム ・ゴールエリアは守りなし  	○前時までに学んだことを生かした作戦が考えられるよう、作戦会議記録を共有しながら進められるようにする。 ○自分のチームの特徴に合った作戦が考えられるよう、いくつかの作戦を提示する。 ○スキルアップタイムで想定した場面が作れるように、声をかける。 ○前後半の間に作戦会議を行うことで、作戦の軌道修正をするなど臨機応変に対応してよいと伝える。 ◆自己やチームの特徴に応じた作戦を選んでいる。（観察・学習カード）【思考・判断・表現】 △努力を要すると判断される状況（C）の児童への指導の手立て ・作戦ボードを活用することで、視覚的に分かりやすく伝えるようにする。 ・一緒に動いたり声掛けをしたりしながら支援し、イメージできるようにする。 ◎十分満足できると判断される状況（A）の児童の具体的な姿 ・自己やチームの特徴に応じた作戦を選び、チームの状況に応じて活用することができている。
整理 7分	7　ボールを片付けて集合する。 8　本時のまとめ振り返りをする。 9　次時のねらいを確認する。 10　整理運動をする。 11　集合・整列・挨拶をする。	○勝敗のみではなく、自分のチームの特徴と作戦が合っていたか、振り返れるように声をかける。 ○ねらいに沿った振り返りをしている児童の考えを学級全体で共有する。 ○本時の課題を次時に繋げるようにする。 ○安全に気を付け、素早く行うよう声をかける。 ○よく使ったところを丁寧にほぐすよう助言する。 ○明るく挨拶ができるようにする。

９　資料

サッカー学習カード



５年１組（　　）番　名前

（　　）



学習カード

５年１組（　　）番　名前（　　）

	ねらい	めあて	振り返り
1	学習の進め方を知り、学習の見通しをもとう。		
2	ねらったところにボーを蹴って、ゲームをしよう。		
3	味方にパスをつなげよう。		
4	空いているスペースに動こう。		
5	チームの特徴に応じた作戦を選ぼう。		
6	効果的な攻め方を考えよう。		
7	これまでの学習を生かし、５の１カップを楽しもう。		